

【基礎分野】

必須科目

科目名	開講時期	単位数	科目時間数／授業回数
国語表現	1 セメスター	1 単位	30 時間 / 15 回
科目内容の内わけ(单元名)	講義担当者(実務経験の有無)	単元時間数／授業回数	
	三宅 えり (実務経験 有)		
事前学習内容	・ 入学前課題で記載した文章を読み返し、修正箇所の見直しをしておく。		
科目概要・目標	<p>さまざまな対象に関わる看護師には関係形成のためのコミュニケーション力が求められ、言葉を正しく用いる必要がある。本科目は報告書やレポート、論文作成に必要な基本的な日本語の表現法を学ぶ。また、文章表現を通して相手の価値観に添う表現力を身に付ける。</p>		
DPとの関連 *特に関連の深いものを提示する	DP(4)多様な価値観を持つ対象を尊重し、対象に有益となる人間関係が形成できる。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国語表現とは 2. 文章表現について <ol style="list-style-type: none"> 1) 段落の役割について 2) 「事実」と「意見」について 3) 要約について 4) 引用の仕方と注の付け方について 3. 言葉の使い分けについて <ol style="list-style-type: none"> 1) 待遇表現について 2) スピーチの作成と発表 テーマ「言葉の使い分けについて」 4. 文章の作成 <ol style="list-style-type: none"> 1) 日誌 2) 手紙 3) 小論文 テーマ「尊厳死について」 4) 小論文鑑賞会 		
評価方法	授業中の課題への取り組み、および、最終課題の小論文によって評価する。		
使用テキスト	なし。 プリントを配布する。		
参考文献	授業中に紹介する。		

【基礎分野】

必須科目

科目名	開講時期	単位数	科目時間数／授業回数
論理的思考と表現	4 セメスター	1 単位	30 時間 / 15 回
科目内容の内わけ(单元名)	講義担当者(実務経験の有無)	単元時間数／授業回数	
	三宅 えり (実務経験 有)		
事前学習内容	<p>・ 国語表現の学習内容を復習しておく。</p>		
科目概要・目標	<p>国語表現で学んだ内容を発展させ、事象を正しく理解するための分析的思考力や物事を体系的に整理し矛盾や飛躍のない捉え方をするための論理的思考力を身に付ける。また、自らの考えや主張を根拠に基づいて論理的に表現する方法を学ぶ。</p>		
DPとの関連 *特に関連の深いものを提示する	<p>DP(4)多様な価値観を持つ対象を尊重し、対象に有益となる人間関係が形成できる。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語のトレーニングⅠ <ol style="list-style-type: none"> 1) 待遇表現 2) 和語・漢語・外来語 2. データの活用 <ol style="list-style-type: none"> 1) データの収集と分析 2) データの情報化 3) データをもとにしたプレゼンテーション 4) データをもとにした小論文の作成 3. 日本語のトレーニングⅡ <ol style="list-style-type: none"> 1) 同音・同訓異義語 2) 類義語・対義語 4. 小論文鑑賞会 テーマ「看護師と言葉」 <ol style="list-style-type: none"> 1) 小論文鑑賞会 		
評価方法	<p>授業中の課題への取り組み、および、最終課題の小論文によって評価する。</p>		
使用テキスト	<p>なし。 プリントを配布する。</p>		
参考文献	<p>授業中に紹介する。</p>		

【基礎分野】

必須科目

科目名	開講時期	単位数	科目時間数／授業回数
情報技術活用論	1 セメスター	1 単位	30 時間 / 15 回
科目内容の内わけ(单元名)	講義担当者(実務経験の有無)	単元時間数／授業回数	
	小澤 克彦 (実務経験 有)		
事前学習内容	パソコンの基本操作、および基礎的な用語について学習しておく。		
科目概要・目標	現代社会には「的確に情報を選び取る力」が必要とされる。そこで、暮らしの利便性を向上させるICTの基本を理解し、情報リテラシーの意識を高めるために、基本的な情報技術を習得し、情報や機器を適切に活用する方法を学ぶ。		
DPとの関連 *特に関連の深いものを提示する	DP(6)多職種との協働について保健・医療・福祉における中心となる看護の役割を理解し、健康のあらゆるレベルにある対象が住み慣れた地域で暮らせるように調整できる。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 安全な情報の取り扱い <ol style="list-style-type: none"> インターネット、SNSの利便性と危険性 情報の保護 ソフトウェア・アプリケーションの基本操作 <ol style="list-style-type: none"> Wordを活用した基本的な文書作成 Excelを活用した基本的な表計算、データ処理、関数、グラフ作成 PowerPointの基本操作とプレゼンテーション 統計処理の実際 <ol style="list-style-type: none"> アンケート集計 統計の数字から意味を読み解く 文献検索の方法と実際 医療情報システムと電子カルテの基本 <p>*20名ずつを2クラスに分けて、1クラスごとに情報科学室にて行う。</p>		
評価方法	毎時間の課題、最終課題、授業態度を総合的に評価する。		
使用テキスト	「エッセンシャル看護情報学 第3版」 医歯薬出版 「情報リテラシー アプリ版」 FOM出版		
参考文献	授業で紹介する		

【基礎分野】

必須科目

科目名	開講時期	単位数	科目時間数／授業回数
人間と哲学	1 セメスター	1 単位	15 時間 / 8 回
科目内容の内わけ(単元名)	講義担当者(実務経験の有無)	単元時間数／授業回数	
	銭廣 承平 (実務経験 有)	時間 / 回	
事前学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「私って何?」「私にとっての利とは?」という問いに答え自己を知る(自己分析)。 ・責任と自由について、自己の考えをまとめておく。 		
科目概要・目標	<p>哲学の学習は、これまでの経験から成り立つ「自己正当化」に新たな意味を加える等、立場による正しさの違いに気づく機会となる。本科目では、正解のない問いについて考え抜き、誰もが深く納得できる「共通了解」について学び、また物事に対する問いや考え方を広げ、生きる力の本質を見出す。</p>		
DPとの関連 *特に関連の深いものを提示する	<p>DP(2)看護師として使命感をもち、倫理に基づいた判断・行動ができる。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.「在ること」とはなにか——論理の基本 2.科学的思考——科学革命の条件 3.システムという視点——基本のゆらぎ 4.自己同一性——責任と自由 5.心の在りよう——内なる他者 6.社会の中のヒト——外なる自己 7.問いを立てて考える(討論会) 		
評価方法	<p>レポート 90% 平常点 10% 60点以上を合格とする。</p>		
使用テキスト	<p>なし</p>		
参考文献	<p>看護学生の哲学入門(人間理解のために) 学習研究社 はじめての哲学的思考 ちくまプリマー新書 下流志向 学ばない子どもたち 働かない若者たち 講談社文庫</p>		

【基礎分野】

必須科目

科目名	開講時期	単位数	科目時間数／授業回数
心のしくみと行動	1 セメスター	1 単位	30 時間 / 15 回
科目内容の内わけ(单元名)	講義担当者(実務経験の有無)	単元時間数／授業回数	
	高松 みどり (実務経験 有)		
事前学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考える自己の性格や特性をまとておく。 ・自己の喜怒哀楽の行動を記録しておく。 ・学習進度に合わせてテキストを読んでから授業に参加する。 		
科目概要・目標	<p>看護対象はこころのあり方によって行動が変化するため、心理学の知識を踏まえた対処・支援が必要である。本科目では、自己・他者理解を深め、人間の心理状態と行動を科学的に洞察し、看護の対象を統合的に捉える基礎を身に付ける。</p>		
DPとの関連 *特に関連の深いものを提示する	<p>DP(1)人と暮らしを大切に捉え、対象を統合的に理解し、科学的思考に基づいた看護が実践できる。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学とは何か 2. 性格 (性格とは?・性格検査) 3. 知覚 (視覚の不思議) 4. 記憶 (記憶のしくみ・忘却の理論) 5. 学習 (学習の理論) 6. 思考 (問題解決・推理) 7. 言語 (言語能力の発達) 8. 知能 (知能の測定) 9. 社会心理 (集団行動・対人関係) 10. 発達 11. カウンセリング・心理療法 <p>*筆記試験 (1時間:45分)</p>		
評価方法	<p>筆記試験 (100%)</p>		
使用テキスト	<p>「系統看護学講座 基礎分野 心理学」 医学書院</p>		
参考文献	<p>授業で紹介する。</p>		

【基礎分野】 必須科目

科目名	開講時期	単位数	科目時間数／授業回数
人の暮らしと文化	3 セメスター	1 単位	30 時間 / 15 回
科目内容の内わけ(单元名)	講義担当者(実務経験の有無)	単元時間数／授業回数	
	金 瑛 (実務経験 有)	時間 / 回	
事前学習内容	<p>・社会で生じている様々な出来事について情報を収集する。(新聞を読む、ニュースを見る、など)</p>		
科目概要・目標	<p>暮らしを営む人を対象とする看護において「文化的な多様性の受容」が重要となる。よって、自分自身の経験を振り返る(外から眺める)作業を通し、主観だけではなく「人間や社会を客観的にみる」力を養うため、人々の暮らしや文化を捉える視点を理解し、対象を取り巻く環境について理解する。</p>		
DPとの関連 *特に関連の深いものを提示する	<p>DP(3)甲賀・湖南市民の生活習慣病の予防、健康寿命の延伸等、健康の保持・増進、回復及びセルフケア能力を高める看護を実践できる。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の概要・進め方・評価の方法について (社会学とは何か) 2. 社会学的発想に慣れるⅠ (「行為論」) 3. 社会学的発想に慣れるⅡ (「役割演技」「印象操作」) 4. DVD視聴・小レポート提出 5. 現実社会的に作られるⅠ (「構築主義」) 6. 現実社会的に作られるⅡ (「ラベリング論」) 7. 現実社会的に作られるⅢ (小レポートに向けてのまとめ) 8. DVD視聴・小レポート提出 9. 政治と権力Ⅰ (人はなぜ服従するのか) 10. 政治と権力Ⅱ (権力のさまざまな形) 11. 政治と権力Ⅲ (メディアと権力の関係) 12. DVD視聴・小レポート提出 13. 現代社会論Ⅰ (労働と消費) 14. 現代社会論Ⅱ (リスクとグローバル化) 15. 家族を含めた集団と社会 <p>※数回、映画等の視聴を行い、小レポートを書いてもらいます。 筆記試験 (1時間:45分)</p>		
評価方法	<p>小レポート (30%)、 筆記試験 (70%)</p>		
使用テキスト	<p>「フシギなくらい見えてくる!本当にわかる社会学」 日本実業出版社 教科書の補足として、適宜、プリントを配布する。</p>		
参考文献	<p>「命題コレクション 社会学」 ちくま学芸文庫</p>		

【基礎分野】

必須科目

科目名	開講時期	単位数	科目時間数／授業回数
外国語Ⅰ	3 セメスター	1 単位	30 時間 / 15 回
科目内容の内わけ(单元名)	講義担当者(実務経験の有無)	単元時間数／授業回数	
	David de Pury (実務経験 有)	時間 / 回	
事前学習内容	英語に関する既習学習内容を復習しておく。		
科目概要・目標	<p>社会の変化とともに医療現場でもグローバル化が進んでおり、その中でも英語の理解は基本となる。他国の文化や歴史に触れ国際社会に対応できる会話力が必要である。そのため、既習の英語を活かし日常的な英会話や、身体や健康に関する英会話を学び、コミュニケーション力を身に付ける。</p>		
DP との関連 *特に関連の深いものを提示する	<p>DP(3)甲賀・湖南市民の生活習慣病の予防、健康寿命の延伸等、健康の保持・増進、回復及びセルフケア能力を高める看護を実践できる。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Checking In 1 2. Personal History 8 3. Admission and Orientation to the Hospital Routine 15 4. Daily Activities 21 5. Pain 28 6. Clinical History 35 7. Vital Signs and Physical Assessment 44 8. Positioning the Patient in Bed and Making the Bed 50 9. Bath and Comfort 57 10. Procedures 63 11. Tests 71 12. Patient Teaching 78 13. Exercise 14. Exercise <p>* 筆記試験 (1時間：45分)</p>		
評価方法	筆記試験 (100%)		
使用テキスト	「臨床看護英語」 医学書院		
参考文献	授業で紹介する		

【基礎分野】

必須科目

科目名	開講時期	単位数	科目時間数／授業回数
外国語Ⅱ	3 セメスター	1 単位	30 時間 / 15 回
科目内容の内わけ(单元名)	講義担当者(実務経験の有無)	単元時間数／授業回数	
	住田 育法 (実務経験 有)	4 時間 / 2 回	
	塚田 智恵 (実務経験 有)	26 時間 / 13 回	
事前学習内容	<p>・ブラジルの文化について調べておく。</p>		
科目概要・目標	<p>社会の変化とともに医療現場でもグローバル化が進んでおり、多様な文化の理解が求められる。特に甲賀市・湖南市にポルトガル語を用いて生活する人々が多く、その文化・歴史を理解するとともに言葉の理解が必要となる。これらの人々が安心して医療を受けられるよう、基礎的なポルトガル語会話を学び、コミュニケーション力を身に付ける。</p>		
DPとの関連 *特に関連の深いものを提示する	<p>DP(3)甲賀・湖南市民の生活習慣病の予防、健康寿命の延伸等、健康の保持・増進、回復及びセルフケア能力を高める看護を实践できる。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ブラジルの人と文化を知る 2. 私はだれ 挨拶、紹介 動詞 s e r 3. 動詞の活用 名詞の性 4. 地域のことをたずねられたら 5. 受診にきたら 6. 入院してきたら 7. ひとのからだ 病気の検査 8. 事故による怪我 手術 9. 妊娠 お産 お産のあと 授乳 10. 小児科のこと 11. 診療所にて 病気と治療 12. 病院で治療 家庭で療養 13. 患者さんとおしゃべり 14. ブラジルの歴史と社会を知る <p>*筆記試験 (1時間：45分)</p>		
評価方法	<p>筆記試験 (100%)</p>		
使用テキスト	<p>「生きたブラジルポルトガル語 初級」 同学社</p>		
参考文献	<p>授業で紹介する</p>		

【基礎分野】

必須科目

科目名	開講時期	単位数	科目時間数／授業回数
人間関係論Ⅰ	1 セメスター	1 単位	30 時間 / 15 回
科目内容の内わけ(単元名)	講義担当者(実務経験の有無)	単元時間数／授業回数	
	伊藤 大輔 (実務経験 有)	時間 / 回	
事前学習内容	自己のコミュニケーションの傾向と他者のコミュニケーションの傾向について意識して生活する。		
科目概要・目的	看護実践には、対象の価値観を理解し尊重することは重要であり、看護師には人間関係を形成する高い能力が求められている。本科目では、自己理解を深め、相手を知り、相手を認める大切さを学び、対象に有益となる人間関係の形成に必要な知識、技術、態度を身につける。また、この授業全体を通してアサーティブコミュニケーションについて理解し習得する。		
DPとの関連 *特に関連の深いものを提示する	DP(4)多様な価値観を持つ対象を尊重し、対象に有益となる人間関係が形成できる。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間関係論概要 <ol style="list-style-type: none"> 1)社会人の3大ルール 2)挨拶と身だしなみ 2. 自己理解 3. 非言語的コミュニケーション 4. コミュニケーションワーク 5. 人間心理 6. リーダーシップトレーニング 7. 自己承認 8. 自己表現 		
評価方法	毎時のレポート及び課題 (30%)、テスト (30%)、受講態度 (40%)、合計で60点以上を合格とする。 この授業は演習を中心とした参加体験型のため、主体的、積極的な受講態度が求められる。		
使用テキスト	特に定めない。必要に応じてプリント教材の配布を行う。ノート (20ページ程度) 1冊を各自で準備する。		
参考文献	系統看護学講座 基礎分野 「人間関係論」 医学書院 他 人間及び人間関係の理解と充実に役立つ文献を授業中に紹介する。		

【基礎分野】

必須科目

科目名	開講時期	単位数	科目時間数／授業回数
人間関係論Ⅱ	5 セメスター	1 単位	15 時間 / 8 回
科目内容の内わけ(单元名)	講義担当者(実務経験の有無)	単元時間数／授業回数	
	川島 理恵 (実務経験 有)	時間 / 回	
事前学習内容	これまでの実習を振り返り、チームの協働・連携におけるコミュニケーションに必要な視点と課題について考えを明確にしておく。		
科目概要・目的	対象の安全な暮らしの持続には、患者との関係はもちろん、家族、多職種、地域社会と密接に連携していくことが不可欠である。看護師は、チームで協働・連携するための人間関係の構築と対象の立場を考えたコミュニケーションが求められる。本科目では、専門職としての情報提供や説明、協働でケアを提供していくための人間関係の構築と調整について学ぶ。		
DPとの関連 *特に関連の深いものを提示する	DP(4)多様な価値観を持つ対象を尊重し、対象に有益となる人間関係が形成できる。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健医療における人間関係 2. 保健医療チームの人間関係 3. 患者を支える人間関係 4. 家族を含めた人間関係 5. 地域をつくる人間関係 <p>*筆記試験 (1時間：45分)</p>		
評価方法	筆記試験 (100%)、60点以上を合格とする。		
使用テキスト	系統看護学講座 基礎分野 「人間関係論」 医学書院		
参考文献			

【基礎分野】 必須科目

科目名	開講時期	単位数	科目時間数／授業回数
人間工学	1 セメスター	1 単位	15 時間 / 8 回
科目内容の内わけ(単元名)	講義担当者(実務経験の有無)	単元時間数／授業回数	
	福村 肇 (実務経験 有)	時間 / 回	
事前学習内容	授業計画に記載されているワードについて調べておく。		
科目概要・目的	<p>良質で安全なケアの提供には看護技術に関する原理の理解と活用が必要である。本科目では人間を取り巻く人工物、システムや環境などの安全性と看護への応用を学ぶ。また、作業システムの効率を上げ、ヒューマンエラーを防ぐ安全性の基礎を学ぶ。</p>		
DPとの関連 *特に関連の深いものを提示する	DP(5)医療安全の向上に取り組み、看護の対象に良質で安全なケアを継続的にマネジメントできる。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 人間工学とは：基礎から看護と人間工学の関わりについて 人間の特性（物理的特性/生理的特性）と能力 ボディメカニクスを理解するための力学： 作用・反作用、摩擦力、ベクトル、てこの原理、トルク、重心 看護ボディメカニクス：安全・安楽、効率的な姿勢と動作 看護に関わる圧力： 陰圧・陽圧、サイフォンの原理、酸素と圧力、流体の圧力 看護に関わる熱現象 <p>*筆記試験（1時間：45分）</p>		
評価方法	筆記試験（100%）、60点以上を合格とする。		
使用テキスト	「ベッドサイドを科学する－看護に生かす物理学」 学習研究社		
参考文献	<p>「イラストで学ぶ看護人間工学」 東京電機出版局 「看護・介護を助ける姿勢と動作」 東京電機大学出版局 「JNNスペシャルNo.64臨床看護なるほど!サイエンス」 医学書院</p>		

【基礎分野】

必須科目

科目名	開講時期	単位数	科目時間数／授業回数
教育と人間	3 セメスター	1 単位	30 時間 / 15 回
科目内容の内わけ(单元名)	講義担当者(実務経験の有無)	単元時間数／授業回数	
	山本 直子 (実務経験 有)	時間 / 回	
事前学習内容	授業計画に提示のテーマ1.2.3について、調査しておく。		
科目概要・目的	教育は人々の安全を守り人間らしく生きるために重要である。また、教育が人や社会を形成し社会もまた教育のありようを形成する。本科目では時代背景と共に変化する教育が人と社会に及ぼす影響を理解し、人が学ぶことの意味を考える。		
DPとの関連 *特に関連の深いものを提示する	DP(7)専門職として新たな知識や技術を学び続け、対象にとって最善の看護を探究できる。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション テーマ1：「軍国主義教育と学校、教師、子ども（～1945年）」 2. テーマ1を映像から深める 3. テーマ1についての検討、議論 4. 講義 5. 日本国憲法と戦後教育の基本理念～教育基本法（旧法）を読む～ 6. 講義 7. テーマ2：管理主義教育と「落ちこぼれ」問題（1970年代） 8. テーマ2を映像から深める 9. テーマ2についての検討、議論 10. 講義 11. テーマ3：現在の日本社会と教育（1990年代～） 12. テーマ3を映像から深める 13. テーマ3についての検討、議論 14. 講義 15. 全体のまとめ～「学ぶこと」の意味を考える～ <p>*筆記試験（1時間：45分）</p>		
評価方法	グループ活動への参加（50%）、レポート（レポート検討を含む）（50%）、合計で60点以上を合格とする。		
使用テキスト	テキストは特に指定しないが、各回の授業で資料について適宜指示する。		
参考文献			

【基礎分野】

必須科目

科目名	開講時期	単位数	科目時間数／授業回数
スポーツと健康	1 セメスター	1 単位	15 時間 / 8 回
科目内容の内わけ(単元名)	講義担当者(実務経験の有無)	単元時間数／授業回数	
	橋本 和俊 (実務経験 有)	時間 / 回	
事前学習内容	身体活動と健康の関係について調べておくこと。		
科目概要・目的	健康の保持・増進には様々な活動がある。そのなかでも本科目では、スポーツによる身体的・精神的効果を体感し、身体活動が及ぼす健康維持と疾病予防の重要性を学ぶ。また、スポーツを通して仲間との関係を育む。		
DPとの関連	*特に関連の深いものを提示する		
	DP(4)多様な価値観を持つ対象を尊重し、対象に有益となる人間関係が形成できる。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション 2.アイスブレイキング 3.仲間作りゲーム 4.ニュースポーツ 5.まとめ 		
評価方法	出席 (50%)、参加態度 (30%)、レポート (20%)、 合計で60点以上を合格とする。		
使用テキスト	適宜資料を配布する。		
参考文献			

【基礎分野】

選択科目

科目名	開講時期	単位数	科目時間数／授業回数																																							
芸術：陶芸	3 セメスター	1 単位	30 時間 / 15 回																																							
科目内容の内わけ(单元名)	講義担当者(実務経験の有無)	単元時間数／授業回数																																								
	上田 健次 (実務経験 有)	時間 / 回																																								
事前学習内容	身近なものや自然を洞察しておくこと。																																									
科目概要・目的	人のこころとからだを看取る看護活動には、看護職者の豊かな感性と知性が求められる。そこで本科目では、創作活動や作品鑑賞を通して集中力を高め、感性を磨く。また、自己の表現力を身につける。																																									
DPとの関連	*特に関連の深いものを提示する																																									
	DP(4)多様な価値観を持つ対象を尊重し、対象に有益となる人間関係が形成できる。																																									
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1.陶芸(焼もの) について</td> <td>作業場見学</td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>2.粘土にふれる</td> <td>自由作</td> <td>実習</td> </tr> <tr> <td>3.人と焼もの係り</td> <td>日本・世界のやきもの</td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>4.茶碗を造る</td> <td>抹茶茶碗、飯茶碗、湯呑</td> <td>実習</td> </tr> <tr> <td>5.花入を造る</td> <td>花瓶、水盤</td> <td>実習</td> </tr> <tr> <td>6.お皿を造る</td> <td>得意メニューのうつわを</td> <td>実習</td> </tr> <tr> <td>7.陶芸展観賞</td> <td>陶芸館、伝統産業会館</td> <td>観賞</td> </tr> <tr> <td>8.レリーフを造る</td> <td>表現力</td> <td>実習</td> </tr> <tr> <td>9.動物を造る</td> <td>十二支</td> <td>実習</td> </tr> <tr> <td>10.陶土採掘場、精練工場、古窯跡</td> <td></td> <td>見学</td> </tr> <tr> <td>11.陶板を造る</td> <td></td> <td>実習</td> </tr> <tr> <td>12.文化祭出品作</td> <td></td> <td>実習</td> </tr> <tr> <td>13.鑑賞会</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			1.陶芸(焼もの) について	作業場見学	講義	2.粘土にふれる	自由作	実習	3.人と焼もの係り	日本・世界のやきもの	講義	4.茶碗を造る	抹茶茶碗、飯茶碗、湯呑	実習	5.花入を造る	花瓶、水盤	実習	6.お皿を造る	得意メニューのうつわを	実習	7.陶芸展観賞	陶芸館、伝統産業会館	観賞	8.レリーフを造る	表現力	実習	9.動物を造る	十二支	実習	10.陶土採掘場、精練工場、古窯跡		見学	11.陶板を造る		実習	12.文化祭出品作		実習	13.鑑賞会		
1.陶芸(焼もの) について	作業場見学	講義																																								
2.粘土にふれる	自由作	実習																																								
3.人と焼もの係り	日本・世界のやきもの	講義																																								
4.茶碗を造る	抹茶茶碗、飯茶碗、湯呑	実習																																								
5.花入を造る	花瓶、水盤	実習																																								
6.お皿を造る	得意メニューのうつわを	実習																																								
7.陶芸展観賞	陶芸館、伝統産業会館	観賞																																								
8.レリーフを造る	表現力	実習																																								
9.動物を造る	十二支	実習																																								
10.陶土採掘場、精練工場、古窯跡		見学																																								
11.陶板を造る		実習																																								
12.文化祭出品作		実習																																								
13.鑑賞会																																										
評価方法	実技課題作品の実技試験で評価する。60点以上を合格とする。																																									
使用テキスト																																										
参考文献																																										

【基礎分野】

選択科目

科目名	開講時期	単位数	科目時間数／授業回数
芸術：絵画	3 セメスター	1 単位	30 時間 / 15 回
科目内容の内わけ(单元名)	講義担当者(実務経験の有無)	単元時間数／授業回数	
	吉山 輝幸 (実務経験 有)	時間 / 回	
事前学習内容	身近なものや自然を洞察しておくこと。		
科目概要・目的	人のこころとからだを看取る看護活動には、看護職者の豊かな感性と知性が求められる。そこで本科目では、創作活動を通して、作品に投影される自己と向き合い、感性を磨く。また、観察する力を身につける。		
DPとの関連 *特に関連の深いものを提示する	DP(4)多様な価値観を持つ対象を尊重し、対象に有益となる人間関係が形成できる。		
授業計画	<p>1.鉛筆デッサンの基礎Ⅰ 幾何形体「立方体」「円柱」「球」(石こう)</p> <p>2.鉛筆デッサンの基礎Ⅱ 「静物」</p> <p>3.水彩画 「花を描く」「風景を描く」</p> <p>4.鉛筆デッサンの基礎Ⅲ 人体石こう像「胸像」</p> <p>5.木炭デッサン 人体石こう像「胸像」</p> <p>6.アクリル画 「花を描く」</p> <p>7.アクリル画 「風景を描く」</p> <p>8.アクリル画 「人物を描く」</p> <p>9.卒業制作</p>		
評価方法	実技課題作品の実技試験で評価する。60点以上を合格とする。		
使用テキスト			
参考文献			